

## JANS若手の会 第2回東海エリア検討会のご報告

2023年3月25日、日本看護科学学会若手の会主催「第2回東海エリア検討会」をオンラインで開催しました。テーマは前回に引き続き『研究活動を共有する仲間を見つけよう！』とし、運営者の目配りが可能な15名以内の少人数企画としました。

検討会の参加者は8人（東海圏5人、関東圏2人、関西圏1人）でした。会の冒頭で『つながる場や形式を問わず、各研究者の自律性のもとに形成・継続・発展するオリジナルなコミュニティが形成されることを期待する』ことを大事にする東海エリアの立ち位置をお伝えし、参加者一人ひとりに本企画のコンセプトであるResearch Ambition（研究的野心）を語っていただき、研究活動の現状や課題を共有しました。

参加者の共通課題は「共同研究の組織構築方法」でした。「誰に声をかけたらよいかわからない」「（共同研究のお誘いは）自身の経験値を増やすものにとらえ、仮に自身の専門性と離れていても積極的に関与する」といったものから、「自分の専門性やエフォートのバランスを基準として調整していきたい（が、実際はなかなか難しい）」などの意見がありました。

終了後アンケートでは『同じような悩みを持つ仲間がいることがわかり心強く思いました。』『参加者の先生方のお話を伺い、どのように研究チームやフィールドをつくっていったら良いのか知ることができました。』『参加者の先生方のご経験に基づく貴重なお話を伺い、とても良い刺激をいただきました。また、参加させていただきたいです。』といった好意的なコメントを頂戴しました。

東海エリアは引き続き研究の仲間づくりに関心のある者同士が知り合う「ハブ」としての役割を第一義に活動を進めていきます。また、幸いなことに当エリアにはコーディネーターとして若手の会に参画する中で横のつながりを持つことができ、この1年で研究費の獲得から組織横断的な勉強会を立ち上げるまでに至ったスタッフが在籍しています。引き続き今後の活動にご期待ください。次回の企画は2023年夏を予定しています。



第2回参加者 \*上段のコーディネーター3名を含めて11名。

第2回フライヤー